

縄文土器の 文様を作ろう！

狭山市教育委員会

社会教育課 主任 三ツ木康介

縄文土器

縄文土器とは

→縄文時代に使用された土の器のこと。

→日本最古の縄文土器は約1万6000年前のものとされている。(青森県大平山元遺跡出土)



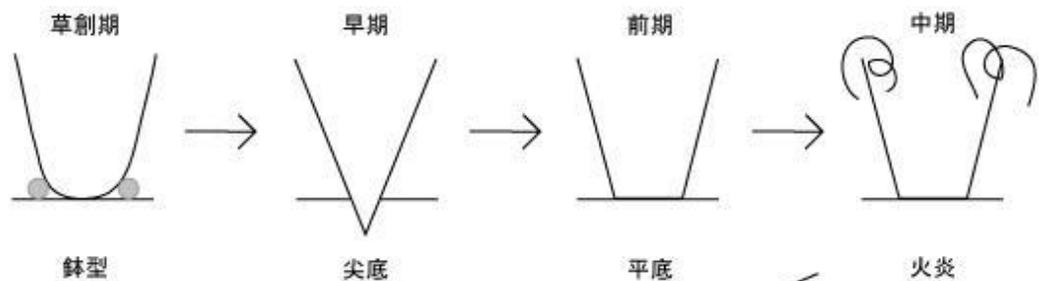
縄文土器の文様は何種類あるでしょうか？

→数百種類あるといわれています。(山内清男1979「日本先史土器の縄紋」)

縄文土器の文様は縄の文様だけなのか？

→縄だけでなく、貝や棒、粘土の貼り付けや自分の爪などさまざまな方法で模様を描いています。

器形から見る縄文土器の移り変わり



①丸底深鉢土器(草創期)



②尖底深鉢土器(早期)



③平底深鉢土器(前期)



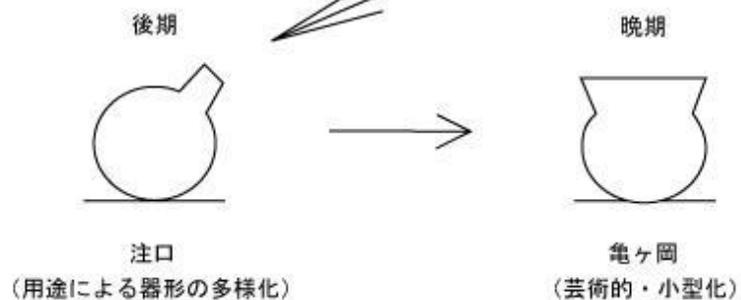
④火炎土器(中期)



⑤注口土器(後期)

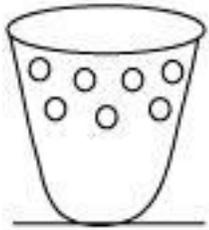


⑥亀ヶ岡土器(晩期)



文様から見る縄文土器の移り変わり

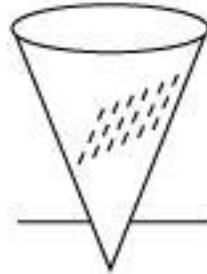
草創期



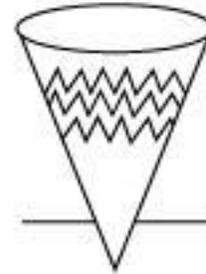
豆状文



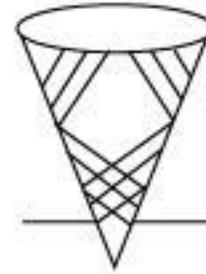
隆起線文



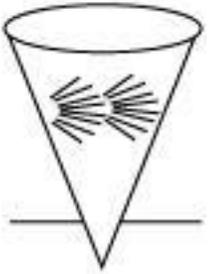
撚糸文



押型文



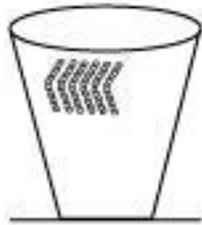
沈線文



条痕文

早期

前期



羽状文



ループ文



コンパス文



爪形文

文様から見る縄文土器の移り変わり2

中期・後期



半截竹管文



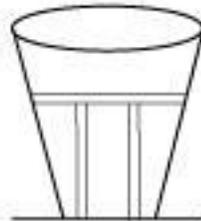
押引文



磨消縄文



渦巻文



懸垂文

晩期



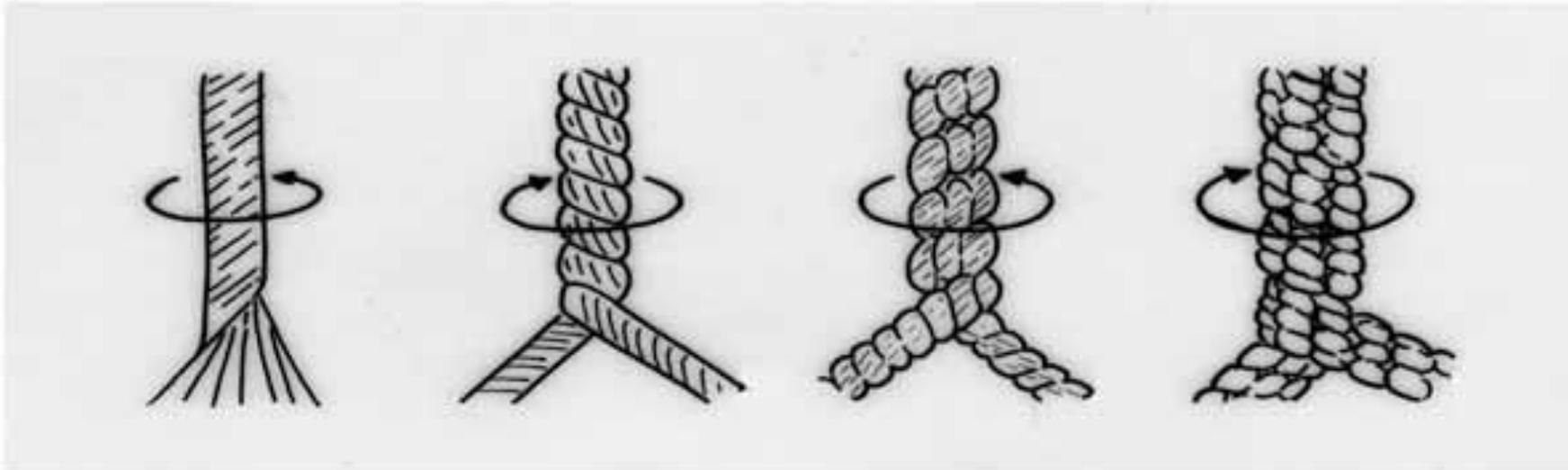
三叉文



入組文

縄で作る縄文原体のつくりかた

【一例】



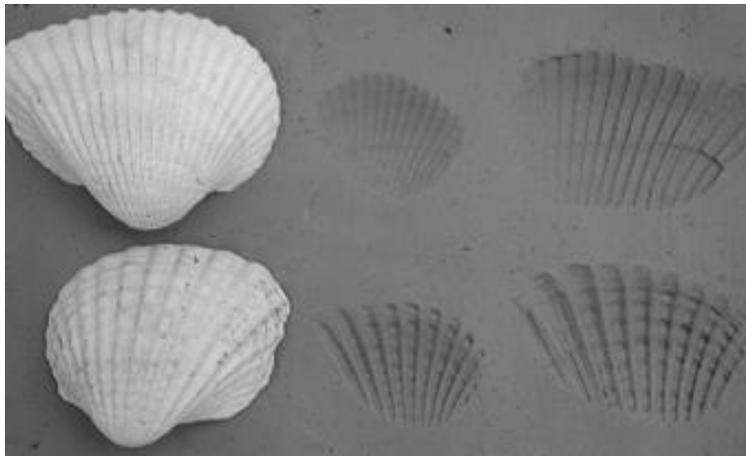
r(0段)
①繊維束を右撚りにする。

L(r)無節(1段)
②①を2本合わせて左撚りにする。

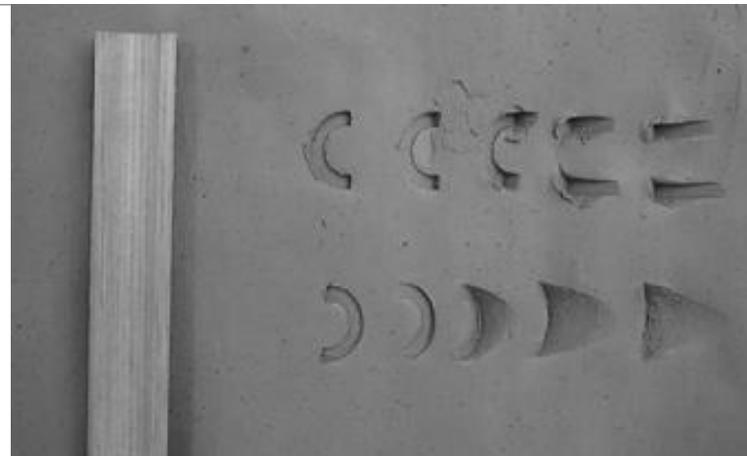
RL(r)単節(2段)
③②を2本合わせて右撚りにする。

LRL複節(3段)
④③を2本合わせて左撚りにする。

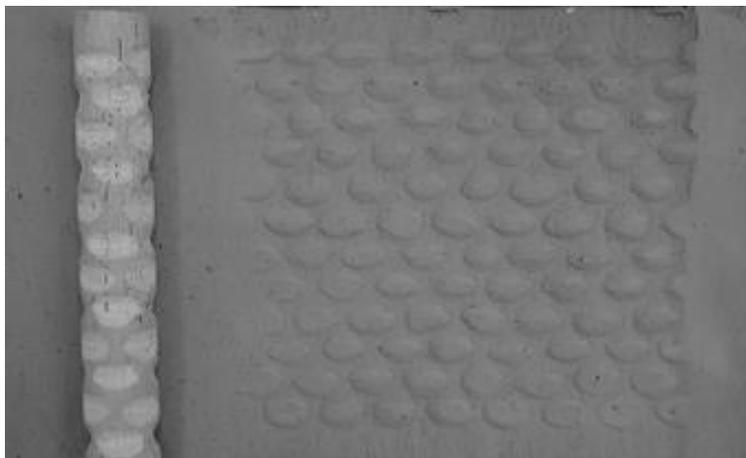
その他の施文具



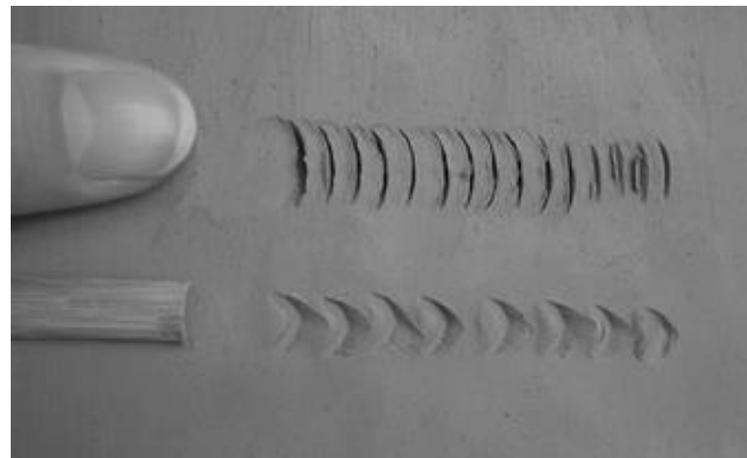
貝殻
サルボウ
ハイガイ等の
背部分を押し
付けたりする。



竹管
半分に割った
りし、線を引い
たり、先端部
を押し付けたり
する。



棒
線を引いたり、
模様を彫って
転がしたりす
る。

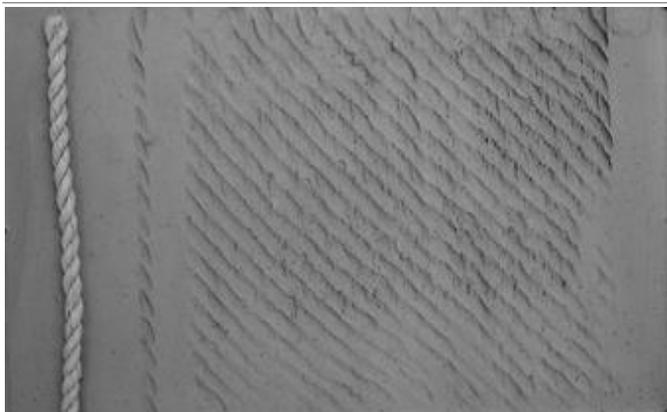


爪
自身の爪を押し
付けたりす
る。

縄文の文様をつくろう！

1. ティッシュを使用し、縄を撚ってみよう！
2. 無節縄文LとRを転がして違いをみよう！
3. 単節縄文LとRを撚って転がして違いをみよう！
4. 結束縄文(羽状縄文)を撚って転がしてみよう！
5. 撚り糸文を作って転がしてみよう！
6. 様々な貝殻文をつけてみよう！
7. 様々な竹管文をつけてみよう！
8. 複合的な文様をつくってみよう！

参考：縄文



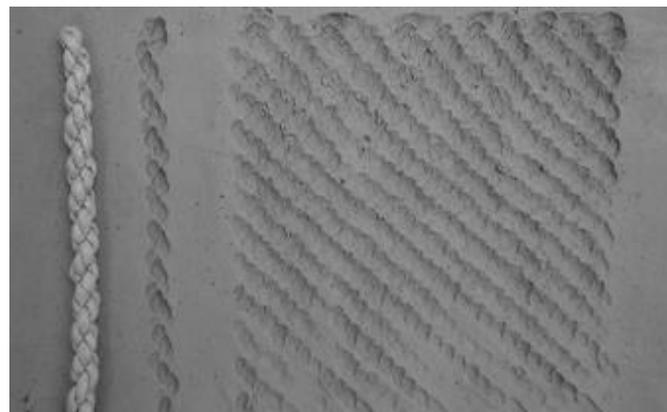
無節縄文 R
左に撚った繊維束2本を、1本に合わせて右撚りにした原体。横回転で施文すると条は左上がりに見えます。



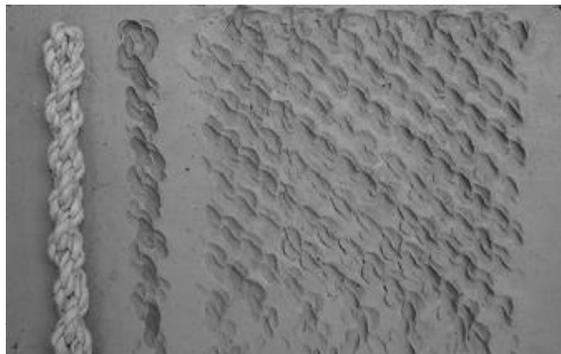
無節縄文 L
無節Rと反対に撚った原体。同じ方向に回転すると条は右上がりに見えます。



単節縄文 LR
無節R2本を、更に左撚りに合わせた原体です。この単節を使った文様が最も多く見られる縄文です。



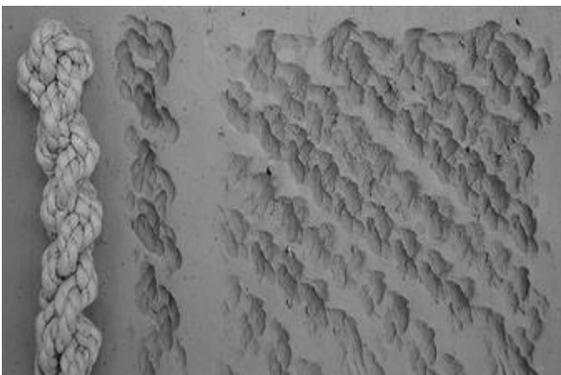
単節縄文 RL
単節LRとは逆に撚ったもの。写真を横にすると、条がLRと同じように見えますが、節の見え方が違ってきます。



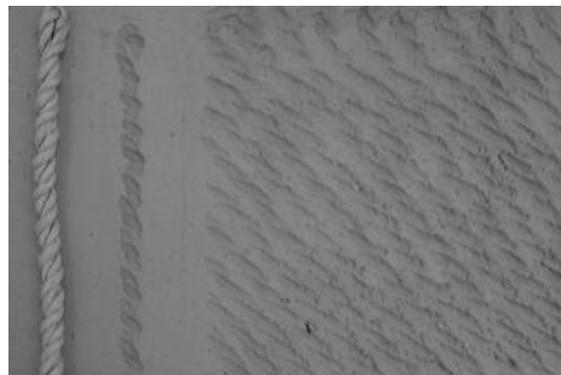
複節縄文 RLR
繊維束をL→R→L→R
の順番で撚り合わせ
ます。中期の土器に
見られます。



複節縄文 LRL
複節RLRとは逆に撚
り合わせたもの。大
きな節の中に小さな
節が見られます。



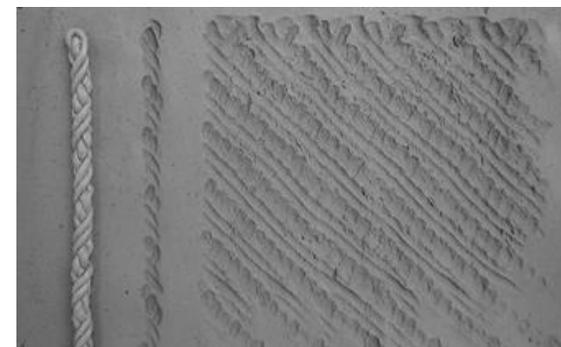
複々節縄文 RLRL
これまで確認されて
いる中で一番撚り
の多い原体です。こ
れはあまり発見され
ていません。



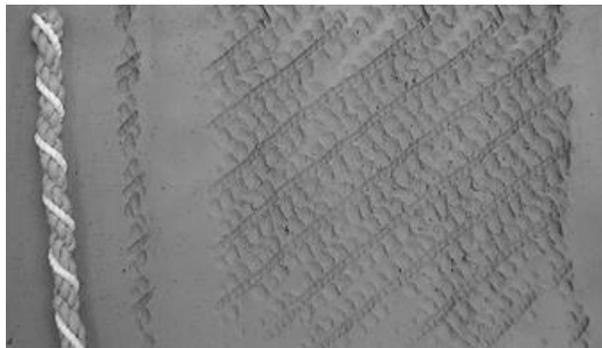
反の縄 RR
無節Rの原体2本を右撚
りに合わせたもの。前段
と同方向に撚るため撚り
がほどけています。前期
の土器に見られます。



反の縄 LL
無節Lを2本を左撚り
に合わせたものです。



正反の合
無節Rと無節Lの原体を、
右撚りに合わせた原体。
Rの撚りが戻りきって2本
の筋となって現れていま
す。一段の反と呼びます。



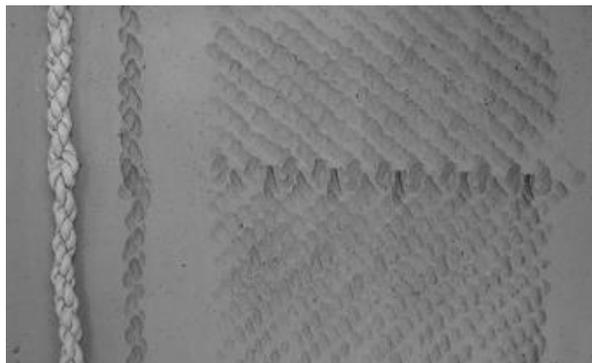
附加条1種

単節LR)の原体の撚り合わせの溝(条)に沿って、1の(R)の原体(白い縄)を巻き付けたもの。関東の弥生時代にも使用されます。



附加条2種

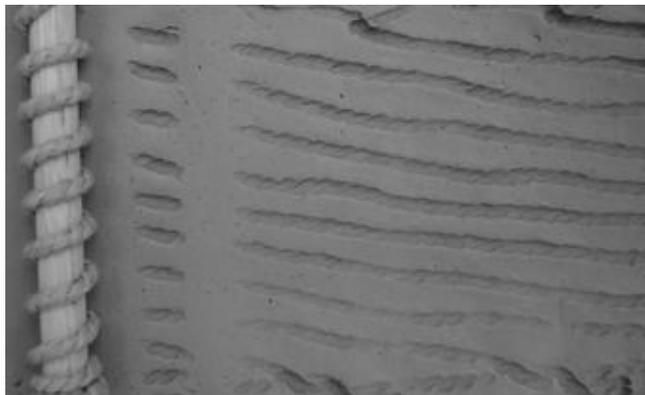
単節LRの原体に無節R)の原体を巻き付けるのですが、溝(条)と反対の回転になっています。



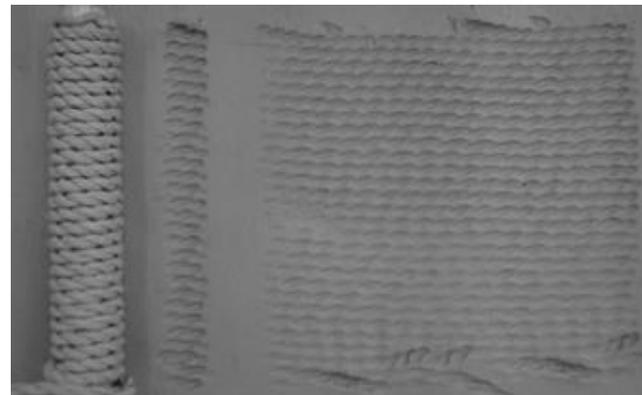
結束縄文

無節Rと無節Lを交差させ、それぞれ折り返して撚り合わせた原体。羽状縄文とも呼びます。

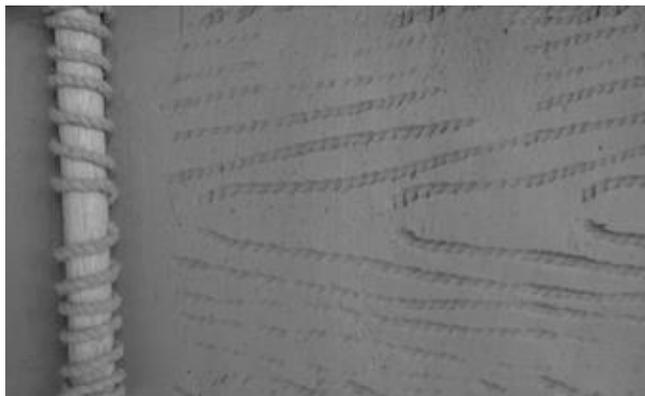
参考：撚り糸文



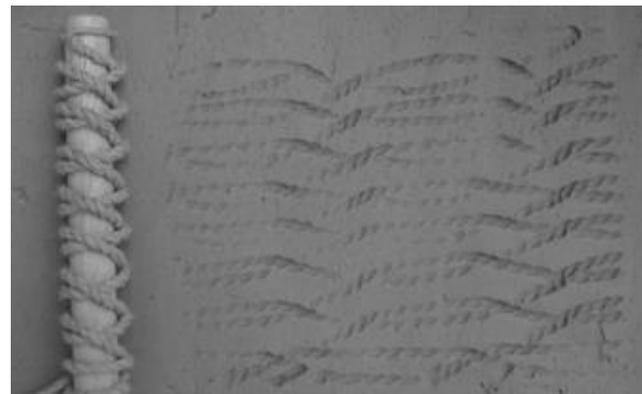
撚り糸文
撚り紐を間隔をあけて軸に巻き付けます。写真の場合は無節Rの原体を右巻きに巻き付けています。



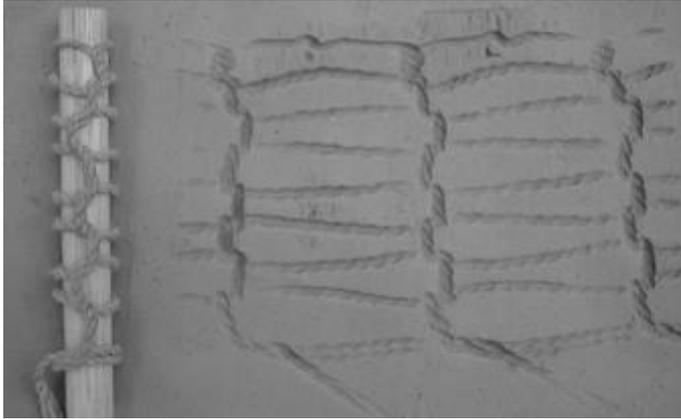
撚り糸文
無節Rを同方向(右)に巻き付けている。巻く間隔が密になっています。



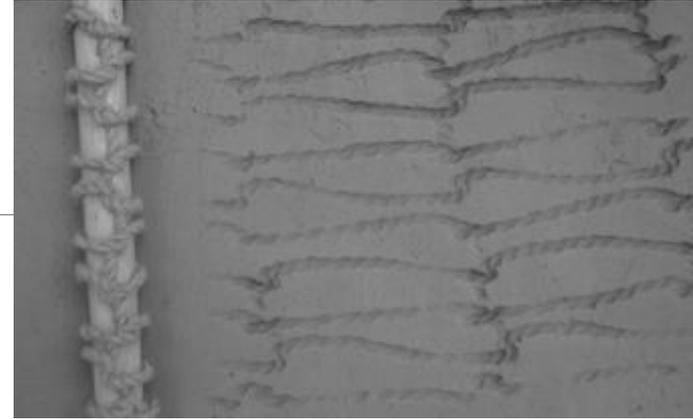
木目状撚り糸文
軸の中央で撚り紐の中央を留め、そこからそれぞれ逆巻きにした原体です。



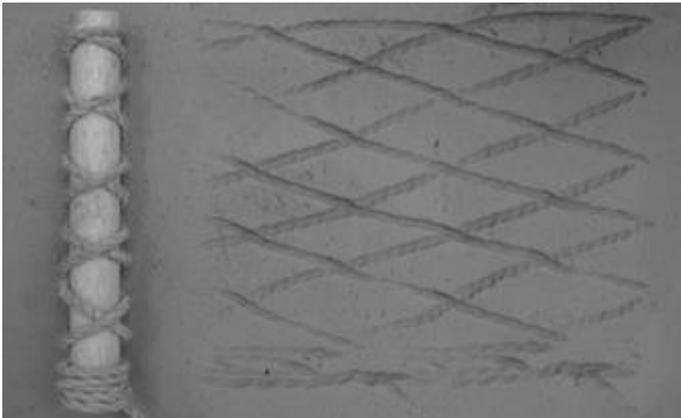
亀甲状撚り糸文
主に東北地方に見られる文様です。



スダレ状撚糸文
東北地方の前期に見られる文様です。

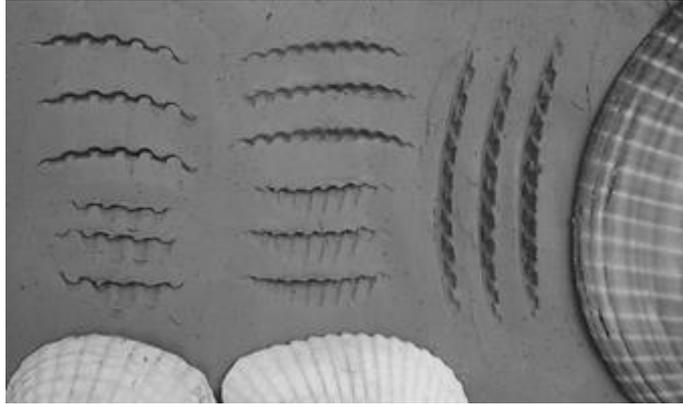


葺瓦状撚糸文
無節Rを反対方向に折り返しながら軸を縛るようにして巻いた原体。



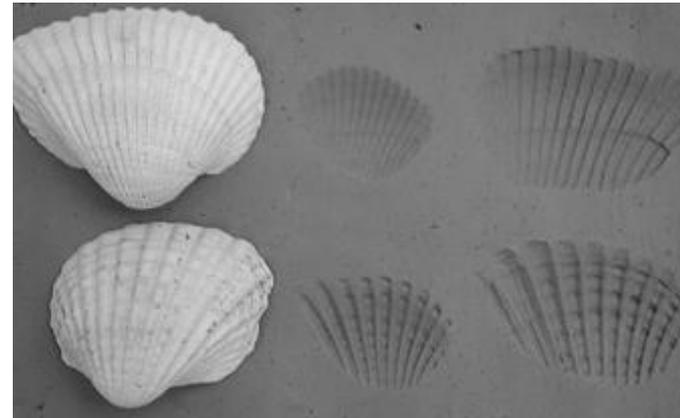
網目状撚糸文
1本の撚り紐をらせん状に巻き、軸の端で折り返して前の紐に交差させながら巻き上げた原体です。関東地方の早期に見られます。

参考：貝殻文

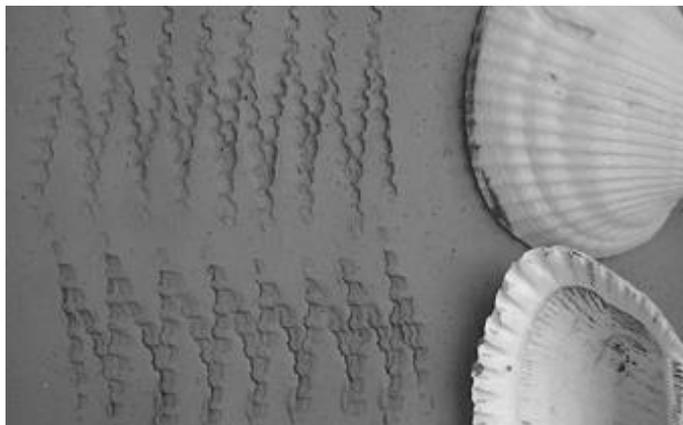


貝殻腹縁文

貝殻の腹縁を押しつけます。貝殻の角度や方向の組み合わせで文様を作ります。左からハイガイ、サルボウ、ベンケイガイ。



貝殻殻表・殻頂圧痕文
貝の殻表や殻頂を押し当てた文様。
サルボウ(上)、ハイガイ(下)



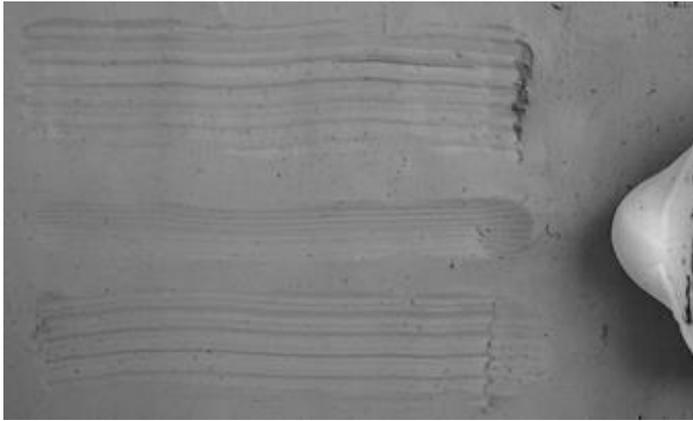
貝殻腹縁連続波状文

貝殻の腹縁を角度を変えながら連続して押し当てます。サルボウを使用。



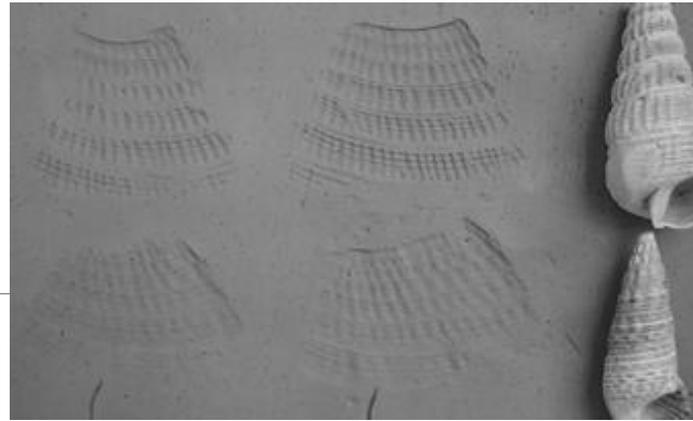
貝殻腹縁押し引き文

貝殻の腹縁を土器に押し当てて途中止めながら引きずるとできる文様。サルボウを使用。



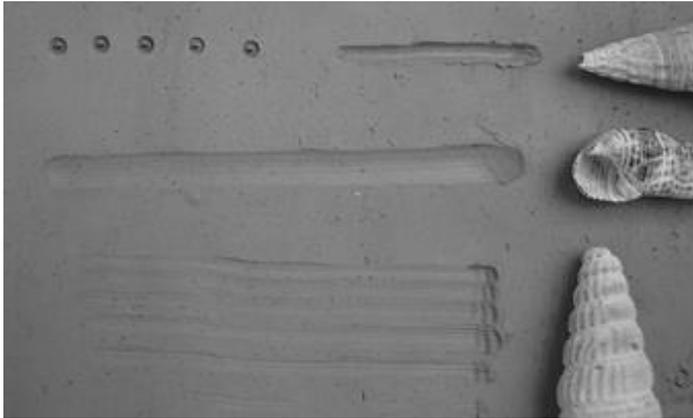
貝殻条痕文

貝殻の腹縁の内、外側、殻頂部を放射肋と平行方向に引きずります。早期後半に器面の調整を兼ねて多用されました。サルボウを使用。



圧痕文・回転文

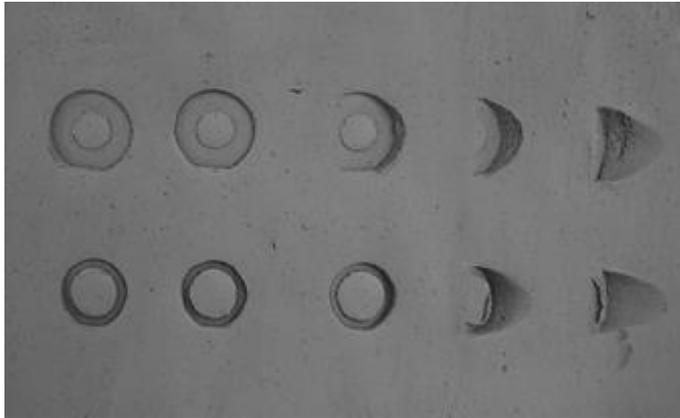
巻き貝のイボ状突起、縦肋、ら肋の凹凸を利用しています。ヘナタリ(上)、ウミニナ(下)。



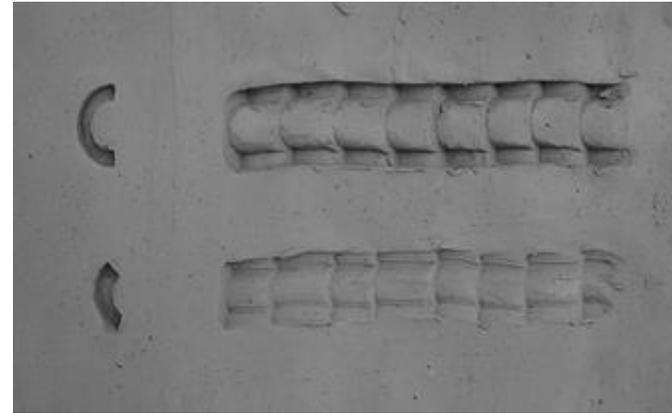
刺突文・条痕文

殻頂や、外唇の外側、ら塔部を利用しています。ウミニナ(上・中)、ヘナタリ(下)。

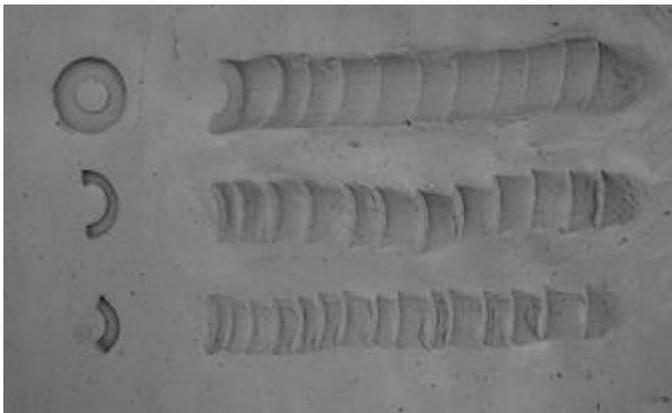
参考：竹管文



竹管文
竹を横に切ったものを使用。角度を変えることで円形文(左)～爪形文(右)のようになります。



キャタピラ文
バウンドさせるように引きずるとこのようになります。中期前葉に見られます。

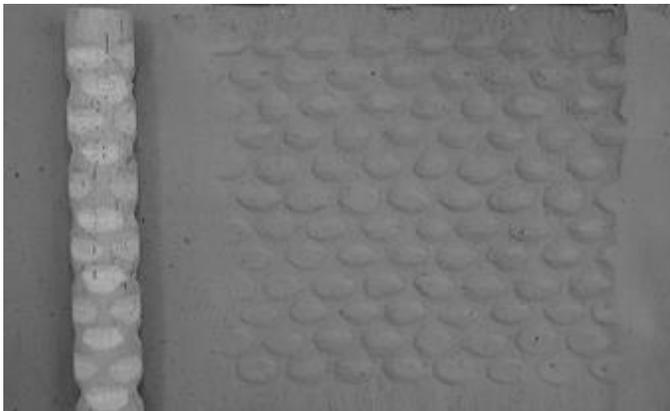


押し引き文
原体の外側を使用するとこのように。中期前葉に見られます。

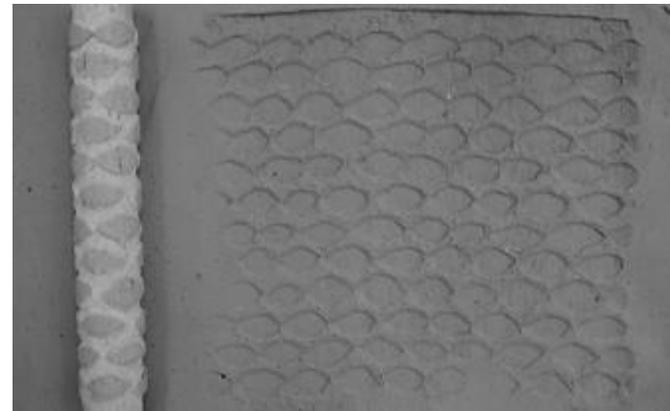


コンパス文
半竹管の原体を使用して出来ます。写真上と下では回転幅が違っただけです。前期に見られます。

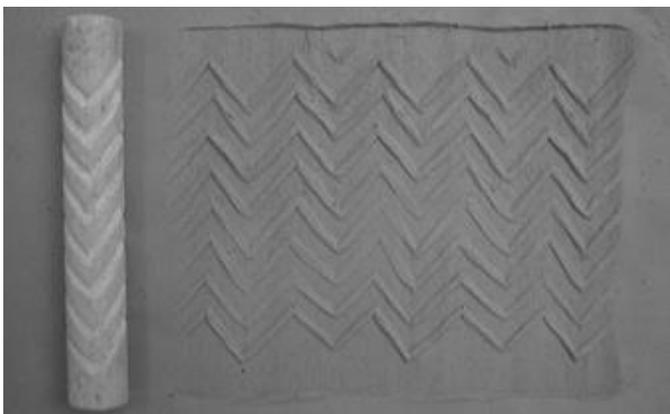
その他の文様



押型文(ネガ楕円文)押型文は早期に中部、近畿地方を中心に、展開した文様です。丸い棒に楕円形の刻みを入れて転がすとできる文様です。



押型文(楕円文)楕円部を削り残した原体です。



押型文(山形文)丸い棒にのこぎりの刃のような形に刻みを入れて転がしたものの。

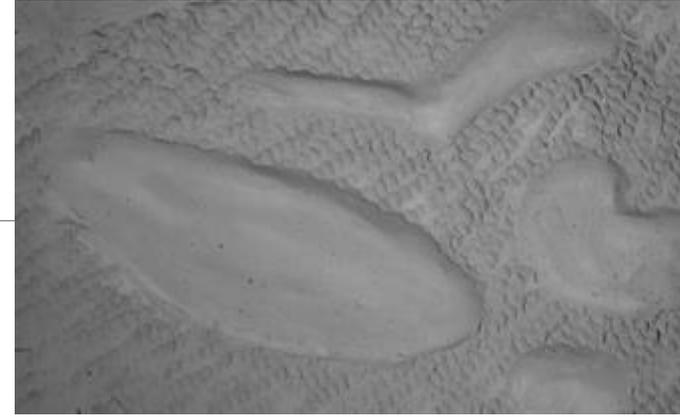


磨消縄文縄文をつけてから、沈線で囲んだ内側をなで消しています。



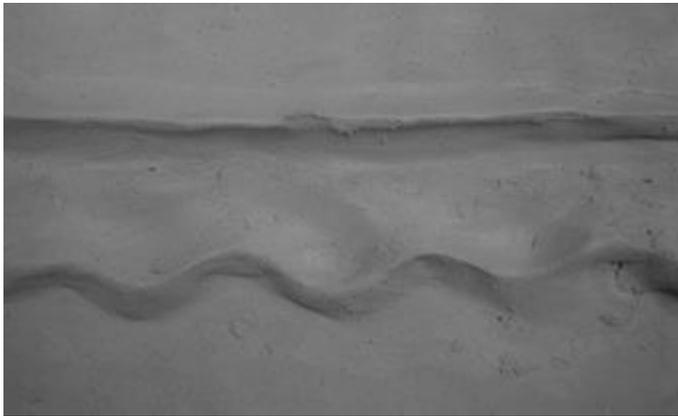
充填縄文

沈線で区割りしてから
縄文を転がします。
よって、縄文の方向が
様々です。



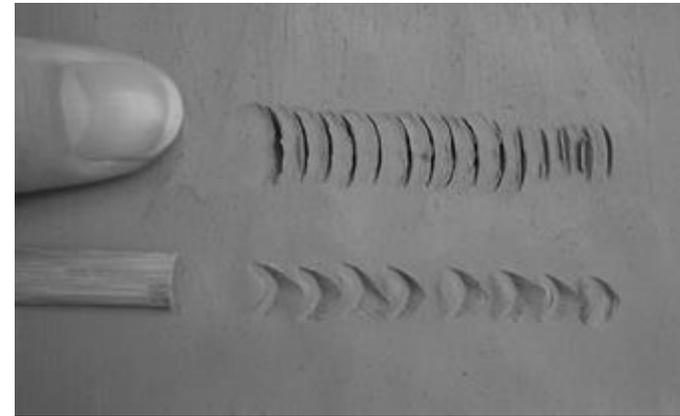
磨消縄文

縄文をつけてからその
周りを削り込んで
磨いているので立体的
です。晩期に流行
します。



隆起線文

器面に粘土紐を貼り付
けたもの。他に、指で
強くこすり寄せて作る
微隆起線文や、太く粘
土紐を貼る隆帯などが
あります。草創期から
見られます。



爪形文

草創期の土器に見ら
れます。人の爪や、
半截竹管などを刺突
して文様を作ります。